

らしつよチャレンジ 2020 「KWU食育ボランティア活動推進プロジェクト」

活動地域・場所: 京都女子大学附属小学校・睦美幼稚園・京都市東山いきいき市民活動センター
活動時期: 2020年5月～2021年3月
代表者所属・氏名: 家政学部食物栄養学科 東 靖恵・廣田 早紀

プロジェクトの きっかけ

◇食育とは？

近年、生活環境の変化に伴い、偏った栄養摂取・朝食欠食・肥満傾向・痩身傾向など、子どもたちの健康を取り巻く問題が深刻化しています。

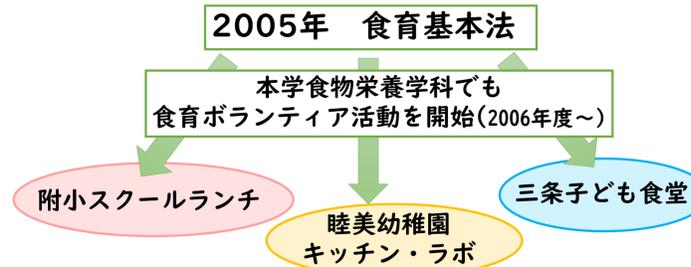
これらの問題を解決するために必要なのが食育です。子どもたちに「食」に関する知識と「食」を選択する力を身につけて健全な食生活を実践することで、子どもたちが生涯にわたり健やかに生きることを目指します。

◇目的

食育基本法が2005年に制定されたことを受けて、食物栄養学科では2006年度より、中山玲子教授の研究室4回生を中心に学内外で食育活動を行ってきました。学生はボランティア活動を通じて、管理栄養士・栄養教諭としての実践力を身に付け、卒業後も様々な分野で活躍しています。しかし、活動拠点がなくなり継続が困難になることが懸念されたため、今後も活動ができるよう、新たな基盤作りを目的として申請に至りました。食物栄養学科をはじめとした全学科の学生を対象として、食育ボランティア活動をより広めたいと考えています。



食育活動



◇附小スクールランチ部会 (今年度休止)

京都女子大学附属小学校の給食の時間に食育を行います。

◇睦美幼稚園キッチン・ラボ部会 (今年度休止)

幼稚園が行っている園児の料理教室のサポートを行います。

◇三条学童子ども食堂部会

主に小学生に夕食を作って提供します。(今年度は調理のみ実施) また、子どもたちと一緒に遊び、宿題を教えます。

活動成果

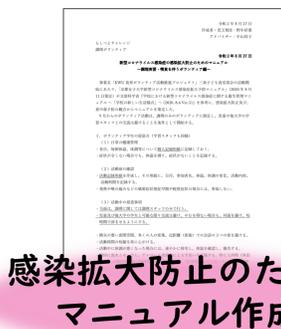
①ボランティア活動人数の増加

京女ポータルで全学科の学生に参加を呼びかけました。結果、開始時点の22名から81名(2021年2月時点)に活動人数が増えました。

②活動基盤作り

ボランティア活動に安心して取り組めるよう、活動するうえで知っておいてほしいことをまとめた食育ハンドブックの作成を行いました。各部会のページがあり、参加方法や服装など、これを読めばボランティアに安心して参加できるようにしました。また、各部会のリーダーを決め、次年度への引き継ぎを行いました。

7月
8月
9月



感染拡大防止のための
マニュアル作成



健康状態把握のための
記録用紙作成



京女ポータルでの
ボランティア募集



食べる時のお約束
ポスター作成

12月

三条学童子ども食堂活動一時再開



感染拡大防止マニュアルの周知徹底、健康管理に
注意を払い、部分的に子ども食堂の活動を再開しました。



レシピ本を購入しました。
作った料理と活動の反省は、
活動毎に共有しました！



子どもたちからリクエストを聞き、
メニューに反映しました！

2月

本年度の活動アンケートの実施

◇ボランティア参加学生

- ・協力して調理をすることやメニューを考えることが楽しかった。
- ・コロナ禍の活動で、より衛生面の意識が高まった。

◇子どもたち

- ・いつもごはんをつくってくれてありがとう！
- ・もっとからあげが食べたい！



食育ハンドブック作成

食育ボランティア活動をするにあたって、知っておいてほしい 知識・注意事項をまとめました。500部製本し、配布する予定です。

今後の活動

◇学生が積極的に活動できるような環境整備

今年度は、コロナ禍ということもあり、当初予定していたミーティングや食育企画などの実施は難しかったですが、目的の一つである「新たな活動基盤作り」は十分に達成でき、今後の活動継続のための大きな成果となったと思います。作成した感染対策マニュアルや食べる時のお約束ポスター、食育ハンドブックは今後も活用していきます。本年度の活動アンケートでいただいた意見を反映し、学生が積極的に食育活動ができる環境を整えていきたいです。